

第20回はしもとCafeミーティング

～ コミュニティバスを含む 橋本市の公共交通について ～

趣旨

本市では、市民が求める街づくりの実現に向け、より多くの皆さんから多様なニーズや意見を把握するため「はしもとCafeミーティング」（市民会議）を各部ごとに開催しています。

この度、第20回はしもとCafeミーティングとして、「コミュニティバスを含む橋本市の公共交通」をテーマに開催しました。また、コミュニティバスにより親しんでもらおうと、コミュニティバスの乗り方教室を同時開催しました。

開催内容

はしもとCafeミーティング

- ◆ 開催日 平成30年3月3日(土) 午前10時～正午
- ◆ 開催場所 橋本市保健福祉センター 1階 集団指導室 及び 駐車場
- ◆ 次第
 - ◇ 挨拶 橋本市 総務部長
 - ◇ 講話 ① 公共交通の現状と課題、今後の目指すべき将来像
国土交通省近畿運輸支局和歌山運輸支局 首席運輸企画専門員 後藤孝行 氏
 - ② 橋本市の公共交通の現状及び公共交通ネットワークの再編計画(案)について
橋本市 総務課 主幹
 - ◇ ワークショップ(グループワーク)の説明
 - ◇ グループワーク
 - ① お住いの地域における移動手段の現状と課題
 - ② 現在のコミュニティバス、デマンド交通(タクシー)の良いところ、改善すべきところ
 - ③ 地域から見たコミュニティバス、デマンド交通(タクシー)のルート、ダイヤ、停留所等の提案
 - ④ 公共交通を残すために地域でできること
 - ◇ 発表
 - ◇ 講評

バスの乗り方教室

- ◇ 家族と一緒にクイズで楽しく学ぼう(エコ&バリアフリー教室)
- ◇ バスの乗り方説明
- ◇ コミュニティバス実車体験(車椅子での乗車体験など)

当日の様子(はしもとCafe ミーティング)

まずはじめに本市の総務部長より開会のごあいさつを述べさせていただいたあと、
国交省近畿運輸支局和歌山運輸支局の後藤氏
及び、橋本市総務課主幹より公共交通の現状やあるべき姿についての講和を行いました。



講話のあと、グループに分かれてテーマに沿って参加者の皆さん同士で意見交換をしていただきました。

今の橋本市の公共交通について、皆さんそれぞれがお持ちの思いや意見について発言していただき、とても有意義な議論が交わされていました。

普段聞くことがない人の意見を聴く機会でもあり、話を聞きながらなるほどとうなずいていらっしゃる場面もありました。

グループで出た意見を最後にとりまとめて、それぞれグループごとに発表をしていただきました。

今回でた意見については、担当職員も考えさせられるものも多くあり、真摯に受け止めさせていただき、次の交通網の見直しに役立てていきたいと思えます。

最後に市長からも講評をいただき、終了となりました。



当日出た意見と感想

① お住いの地域における移動手段の現状と課題

- ・ 近く（歩いて行ける範囲）にバス停や駅が無いので自動車しか手段がない
- ・ バス停は近くにあっても、便利な時間がないため自動車を利用している。（1時間に1本は欲しい）
- ・ 高齢になっても自動車しか選択肢がないと事故の心配がある
- ・ コミュニティバスの一周の時間が長い
- ・ 利用している人が少ない
- ・ 那賀バスが廃止された
- ・ 高野口公民館からの市民病院へのバスが便利
- ・ 行政の独りよがりになっていないか？（乗ってくれないのが悪いということにしていないか）
- ・ 南海りんかんバス運行路線沿線から市役所まで行こうと思うと乗継が多くて不便
- ・ 乗降場所をもっと柔軟にしてほしい
- ・ 路線バスもコミュニティバスも通っていてありがたい
- ・ 時刻表に行先を明記してほしい
- ・ 公共交通は存在しない

② 現在のコミュニティバス、デマンド交通（デマンドタクシー）の良いところ、改善すべきところ

- ・ ダイヤが悪い。（乗継が出来ない、行っても帰ってこれない、電車との接続、通勤時間に合せてほしい）
- ・ 乗継をもっと便利に。（市役所まで一本でいけるように）
- ・ ダイヤの変更があった場合など、それを知らない人がいる。広報をもっとしっかりすべき。
- ・ バス停の位置をもっと考える（行きやすいところ、安全に乗り降りできる場所。停留所だけでなくも停まってくれたら・・・）
- ・ デマンドタクシーの手続きがわかりにくい・面倒
- ・ コミュニティバスは乗っている時間が長く、人が少ないので逆に一人ひとりと仲良くなれる
- ・ 日曜日にも運行できないか
- ・ 車内放送がわかりやすい
- ・ 狭いところまで迎えに来てくれる（デマンドタクシー）
- ・ 代金が安い（良いこと）
- ・ 何回か利用すれば1回無料などなれば
- ・ デマンドは過疎地を拡大させるのでは
- ・ コミュニティバスの目的の”補充”ということを主においてほしい。
- ・ デマンドは福祉施策にしよう
- ・ バスのクッションが悪い

③ 地域から見たコミュニティバス、デマンド交通（タクシー）のルート、ダイヤ、停留所等の提案

- ・ 停留所の環境改善を（ベンチや上屋など待ちやすい環境に。民間の施設などと協力して、施設内で休めるようにするなど）
- ・ 林間田園都市～あやの台あたりまで週一回くらいで行きたい。便利なので今後もバスをきちんとしてもらいたい
- ・ バスやデマンド交通について決定する際は地元の意見をしっかり聞いてほしい。
- ・ 停留所を増やす、もっと奥地まで来てほしい。
- ・ 学校や郵便局、JA・スーパー（買い物）をコミバスで行ける対象に加えてほしい

- ・バスの小型化(個人病院の送迎バス)
- ・デマンドタクシーのフルデマンド化(ルートを限定せずに走らせる。無線やネットを利用して、もっと柔軟に予約や目的地の設定ができるように)

④ 公共交通を残すために地域(ご自身)でできること

- ・サロン等で利用して、食事会、お花見などで乗車機会・人数を増やす。
- ・利用の啓蒙、周知を地域で行っていく。
- ・交通手段の選択肢を幅広く考えていくようにする。
- ・コミュニティバスでのイベント開催
- ・買い物バスやイベントバスの運行で利用する機会を作る。
- ・市民の力を利用(低コスト)
- ・地域との情報共有が出来る体制づくり(市が地域へ入っての説明や、区ごとの意見の吸い上げなど)
- ・区ごとにバス停を守る工夫を
- ・路線カットの地域ごとに自治会内でマイクロバスや運転手などを賄えないか考えてみる。
- ・センターから全地域のバスが一斉に出て帰ってきたバスが又各地へ出て行けばたくさんの時間を待つことがない。
- ・コミュニティシティ(スマートシティ)作りの要(残すことの前提)

Cafe ミーティングへ参加した気持ち（理由）と参加した後の感想

- ① ○ 参加した今の気持ち
今は車で移動しているが、いつまで運転できるかなあ。その時、バスがあれば・・・
- 参加後の感想等
話していたら、私と同じ考えの方が多く、もっと現場の声を聞いてほしいと思っていることに安心。
- ② ○ 参加した今の気持ち
たくさんの方が、コミバスに乗って生活していただけるよう願っています。
- 参加後の感想等
「一人ひとりが、コミバス乗車計画をたてる」などの運動を広げるなどの市民運動的な取り組みができれば良いと思います。
- ③ ○ 参加した今の気持ち
初めて見る資料と、めがね忘れたのもあって、数字では、イメージできにくかったです。プロジェクト？使ったり、視覚的な提示がほしかった。
- 参加後の感想等
意見が活発に出たので良かったです。グループ違っても、観点は同じで、皆で公共交通を守っていくことを考えて行くことが大事だと思います。住んでいるコミュニティでの考えが吸い上げることができたらと思います。
- ④ ○ 参加した今の気持ち
<空白>
- 参加後の感想等
使いたい時に使えない。停留所までいけない。地域によっては、いろいろな思いがあるようです。区単位でコミバスに対する意見をまとめ、市へ言えるような方法があれば・・・。高齢化を思えば、バスはあればありがたいですし・・・。問題が山積みです・・・。
- ⑤ ○ 参加した今の気持ち
・橋本市生活支援協議体第2層協議体（地区毎）の設置について（特に高齢者行動の課題）解決策
・現場を見て現場の声を聞いていただける行政の計画（高齢者の行動、足の確保）現状の打破
- 参加後の感想等
・地区・区の高齢者の移動（足の確保）等は行政にだけ頼っていてはダメ、自分達の地区・地域に於いて課題は自分達で話し合い、自分達で助け合い課題解決にむかわなければならない。
・地区・区住民の交通の課題はもっと行政にも現場の声を聞き取って頂ける様要望していきたい。
- ⑥ ○ 参加した今の気持ち
私はコミュニティバスを利用させて頂いた事はありません。今日は老人会よりお声かけ頂いたもので、出席させて頂きました。
何分にも回数が少なくて不便をしている事はちょいちょい耳にします。その辺のことを踏まえて今日お話を聞かせて頂きます。
- 参加後の感想等
話を聞かせて頂いて、デマンド予約制、場所、乗り合い、市民の足とはならない。
- ⑦ ○ 参加した今の気持ち
今後のコミバスについて考える。
- 参加後の感想等
運転できない人が増えることを今後考えなければいけないと思う。

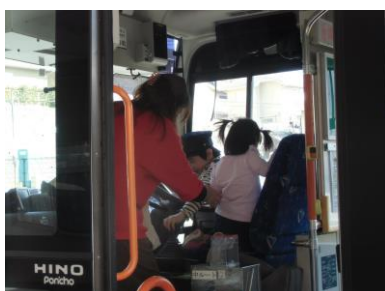
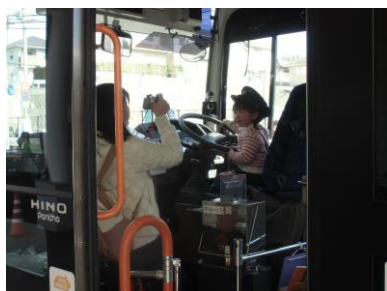
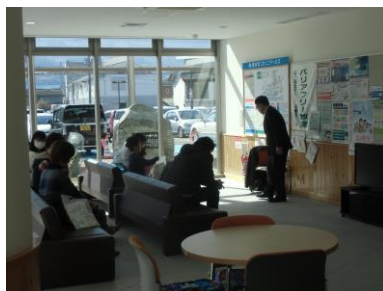
当日の様子(エコ&バリアフリー教室、バスの乗り方教室)

はしもと Cafe ミーティングと併せて、親子連れや小さいお子さんを対象とした「バスの乗り方教室」を開催しました。

普段バスに乗ることが無い方々にバスについて知ってもらい、親しみを持ってもらうことが目的です。

最初に「エコ&バリアフリー教室」ということで、クイズ形式でバリアフリーのマークの意味などについて勉強してもらいました。

参加された子どもさんたちは元気に手を挙げて答えるなど、とても和やかな雰囲気でした。



当日は実際に走っているコミュニティバスも会場に登場し、実際に中をのぞいてもらったり、シートに座ってもらうなどしてバスの雰囲気を感じていただきました。

運転席に座って写真を撮ってもらったりして、お子さんたちも非常に楽しそうでした。

車イスに乗ったままの乗車なども体験してもらい、「乗っているのが子どもでも押し乗せるのは結構大変」など、車イスの大変さや低床バスの必要性などを感じていただきました。

地区によってはこれからスクールバスで通学するお子さんも出てきますので、バスについて知っていただけるいい機会になったかと思います。